

震度算出(支承設計) (部分係数法・H29道示対応) Ver.4

静的フレーム法による固有周期(水平震度)、
上部構造部分の重量(分担重量)を算出

●H29道示対応
プログラム価格
¥301,400
(税抜¥274,000)

立体骨組解析オプション
(H29道示対応)
¥55,000
(税抜¥50,000)

カスタマイズ版
¥279,400
(税抜¥254,000)

サブスクリプション価格
P.122~123参照
UC-1エンジニアサイト
P.31~32参照

Windows 8/10 対応
電子納品 3D PDF

静的フレーム法により固有周期(水平震度)と当該下部構造が支持している上部構造部分の重量(分担重量)を求めるプログラムです。複数振動系を有する橋梁でも、振動単位ごとの固有周期と分担重量を算定します。一基下部構造、固有値解析、任意形状の固有周期算定機能をサポートしています。下部構造は、UC-1下部工製品のデータを連動でき、効率的な下部工の設計を支援します。

- 橋梁モデル解析:上部構造と下部構造の組み合わせにより、橋梁モデルの解析(固有周期、設計水平震度、分担重量、下部構造に作用する慣性力)に対応
- 1基下部構造:下部構造データと解析に必要な最小限の入力で「1基構造計算」が可能。上部構造データを作成不要
- 下部構造の水平方向の剛性算出:弾性荷重法を用いて、下部構造の水平方向

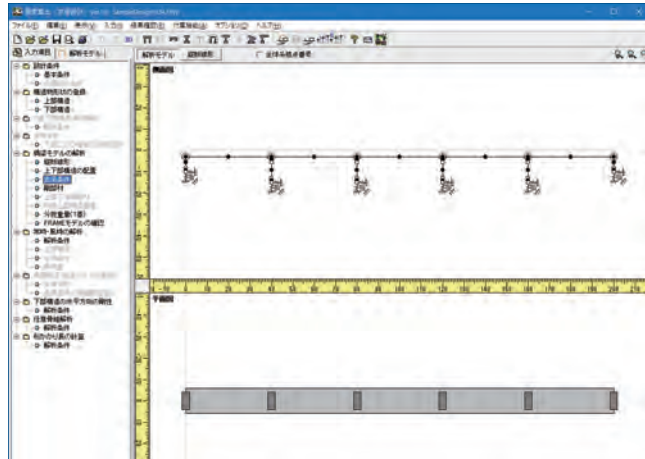
の剛性、躯体の水平剛性、基礎の水平バネ、基礎の回転バネを算出

- 任意骨組解析:任意骨組入力モデルのFRAME解析をサポート

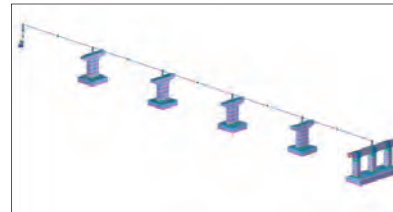
【震度算出(支承設計) 立体骨組解析オプション】

- ラーメン橋脚の門形骨組への対応
- 立体骨組の「Engineer's Studio®」エクスポート

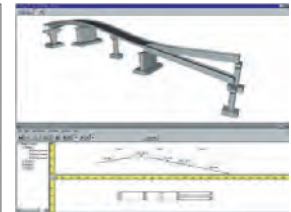
▼橋梁全体の定義も簡単に設定でき、下部構造、上部構造も3次元表示が可能



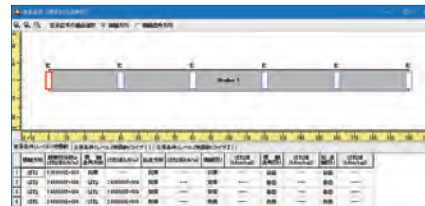
▼Engineer's Studio®のエクスポートイメージ



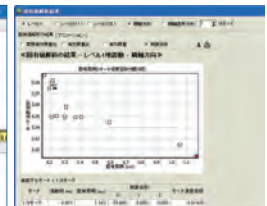
▼縦断線形を考慮した全体系及び骨組みモデルの3D表示が可能。



▼支承条件入力



▼固有値解析結果



部分係数法・H29道示対応

- 部分係数の導入:設計状況に応じた荷重組合せ係数及び荷重係数を考慮
- 固有周期算定におけるモデル:死荷重の荷重係数1.05を考慮
- 地震時慣性力の算定:構造物の重量に対して死荷重(D)、重量×設計水平震度に対して地震の影響(EQ)の荷重係数 γq と荷重組合せ係数 γp を乗じる
- レベル2地震動の設計水平震度は、構造物特性補正係数と下限値の考慮が削除
- レベル2地震動における橋台の支承水平反力の算定に対応
- 永続・変動作用時の解析
- 1基の下部構造とそれが支持している上部構造からなる振動単位で弾性支承を

- 用いる場合の固有周期算定方法をFRAME解析による固有周期を算定に対応
- Engineer's Studio®データのエクスポートに対応
- 設計調書の出力に対応

Ver.4 改訂内容

2020年10月1日リリース

- 1.「道路橋支承便覧 平成30年12月」版に準拠したゴム支承の照査機能に対応
2. 下部構造プロダクトと連動している場合に各下部構造の設計計算書の統合出力に対応
3. 免震設計に対応

震度算出(支承設計)(旧基準) Ver.10

●旧基準 プログラム価格
¥210,980
(税抜¥191,800)

立体骨組解析オプション
(旧基準)
¥38,500
(税抜¥35,000)

- 常時・風時の解析:常時の支承移動量(静的フレーム解析を用いる場合は、水平反力も算定)、風時の支承移動量および支点反力に対応
- 地盤種別の判定及び基礎バネの算出に対応
- 1基下部構造の場合、下部構造躯体の曲げ変形、基礎の変位、上部構造慣性力作用位置における変位、下部構造間の固有周期比、設計水平震度 kh を算出
- 複数下部構造の場合は、面内・面外共、骨組データを自動作成
- 下部構造の震度を算出し、地震時の各下部構造に作用する作用力を算出
- 躯体の剛性、基礎のはね定数を考慮した水平方向剛性算定をサポート
- 杭基礎の断面積・断面2次モーメントの自動算定機能対応
- 応答スペクトル法による動的解析に対応

【反力分散支承】

- 反力分散支承:支承形状より支承のバネ値を算出
- ゴム支承の回転機能の照査に対応
- 複数下部工計算結果を使用する本計算と仮データを入力する仮計算が可能
- 積層ゴム支承/鉛プラグ入り積層ゴム支承/高減衰積層ゴム支承から選択

【免震支承】

- 等価剛性算出:橋梁モデルの解析用データを算定、支承の形状・設計変位から、等価剛性を繰り返し計算により算出
- 複数下部工計算結果を使用する本計算と仮データを入力する仮計算が可能
- 高減衰積層ゴム支承/鉛プラグ入り積層ゴム支承/機能分離型支承/超高減衰ゴム支承をサポート